

古河歴史見聞録

立て続けに直木賞作家を輩出 伝説の同人誌『近代説話』

「同人雑誌をやるうや」
司馬が言い出した。
「うん、やろうか」
「純文学でも大衆文学でもない小説や」
「すると小説ですらないな」
「人生の面白い話や佳い話を、平易な文章で語ってきかせるんや」
「説話だな、近代風の」
（寺内大吉「わが近代説話」より）

昭和32年5月、まだ無名だった寺内大吉と司馬遼太郎の会話から風変わりな同人誌が生まれました。「文学の説話性・説話のロマンスを回復する」ことをモットーに『近代説話』と名付けられたこの同人誌は、6年間でわずか11号し



▲『近代説話』創刊号・第2号
(神奈川県近代文学館蔵)

か発行されなかったにもかかわらず「伝説の同人誌」と呼ばれるようになります。
同人のいない同人誌？
『近代説話』はいろいろな意味でユニークでした。「同人相互の作品批評はしない」「外部に向けての評論活動もしない」という取り決めがあり、これは同人誌にありがちな徒党意識を排除し、各作家個人の完全な自由を尊重するためでした。また、暗黙の同人資格として「懸賞小説や新人賞の経験」があったといえます。
さらに面白いのが「同人費は取らない」。このことについて司馬遼太郎は「この雑誌には、同人というものはいい。最初、この雑誌を支援してくださった方々の好意で第一号と第二号が刊行され、ひきつづき、余収入をもつことができた世話人たちによって運営されてきた。今後も、この雑誌がつづくかぎり、この形態をとるはずである」と述べています。子母澤寛や源氏鶏太、海音寺潮五郎、

今東光など「近代説話」の意気込みを嘉した先輩作家たちから激励とともに資金面でも支援があり、また、同人でも商業誌への執筆等で収入を得た人が同人費を負担したのでした。
文壇の日比谷高校
こうして発行された『近代説話』ですが、昭和35年、一躍注目を浴びるようになります。第42回直木賞を受賞した司馬遼太郎が、自身の生国のように言ったことがきっかけでした。さらに翌36年には寺内大吉、黒岩重吾がダブル受賞、37年には伊藤桂一、40年には永井路子と同人による直木賞受賞が相次ぎ、マスコミは「直木賞の登竜門」「文壇の日比谷高校当時の東大進学者数トップ」などとはやしたてました。
このほかにも、胡桃沢耕史(終刊後、昭和58年に直木賞受賞)や文芸評論家の尾崎秀樹、詩人・小説家の辻井喬なども同人に名を連ねており、直木賞作家を多数輩出したことに加え、戦後文学史を語



▲1970年「近代説話同窓会」
左から司馬遼太郎、杉本苑子、永井路子、伊藤桂一、寺内大吉

る上で欠かすべからざる作家が集った、まさに「伝説」と呼ぶにふさわしい同人誌だったといえます。
「伝説」の実見聞を
永井路子はもちろん、他の同人たちと古河との意外な関係など、まだまだ『近代説話』について語りたいたところですが、ああ、もう紙幅が尽きてしまう……。
続きは15日から始まるスポット展「伝説の同人誌『近代説話』」にて。翌16日にはギャラリートーク(要予約)を行います。皆さまのご来館お待ちしております。
古河文学館学芸員 秋澤正之

【児童書/自然科学】
にゃんこ大戦争でまなぶ！
恐竜の世界
ポノス株式会社ほか 監修

にゃんこ大戦争のキャラクターたちの会話とクイズで、全45種の恐竜の特徴について学べる小学生のための本。生き生きとした恐竜たちのビジュアル、全129問の「恐竜クイズ」も掲載。
出版社…KADOKAWA

【絵本】
てんてんきょうだいとまるねえちゃん
山口慶太 文、田口麻由 絵

何にでも「てんてん」をつけたがる「てんてんきょうだい」には「まるねえちゃん」がいた！そして、いろいろなことばに「まる」をつけていき…。日本語の面白さにも触れられる、子どもの言語センスを養うことば遊び絵本。
出版社…ポプラ社

図書館の本棚から



TSURUTAふくろうの森プラザ

【一般書/ファッション】
ユニクロ・GUでつくる大人の
高見えコーデ
五十嵐かほる 著

あか抜けのコツを知って「おしゃれ迷子」を卒業！40～60代の大人女性に向けて「ユニクロ」「GU」のアイテムをベースに、さまざまな切り口でコーディネート術を伝授。なりたい印象をかなえる色合わせも紹介する。
出版社…宝島社

【一般書/小説】
宇宙の片すみで眠る方法
畑野智美 著

婚約者・直樹を亡くした依里。直樹は年上女性と東北の温泉宿に泊まり、その帰りにバス事故に遭ったのだ。以来眠れなくなった依里は、デパートの寝具売場で働くことに…。『WEB asta*』連載に加筆・修正。
出版社…ポプラ社



三和スターズ
(軟式野球)

東山田公園を拠点に活動している学童野球チームです。特に低学年の児童でも楽しく参加できるよう、キャッチボールやバッティングなど基礎からゆっくりと練習しています。野球が初めてのお子さんでも安心して参加でき、仲間と一緒に体を動かす楽しさを大切にしています。元気なあいさつや思いやりの気持ちも育みながら、みんなで楽しく活動中です。
現在、新しい仲間を募集しています。見学も体験も大歓迎ですので、ぜひ、お気軽に公園へ遊びに来てください！



チームデータ

- ▼活動日時
土・日曜日：8時～12時
- ▼活動場所
東山田公園
- ▼会費
12,000円/年、5,000円(入会金)
- ▼問
西川光義
Tel.090-2670-4544